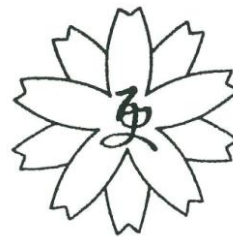


掛川地区 更生保護女性会



駿府学園誕生会に参加して

三世代をつなぐ折り紙の久寿玉

文責 大東支部 都築昭子

9月20日、駿府学園を訪問し、久寿玉作り（折り紙）を子ども達と一緒に行いました。難しい折り方の久寿玉が完成した時の喜びを体験していたので、この感動を学園の子ども達とも分かち合いたいとの思いで、会長さんと共に9名で訪問しました。32名の子ども達に、まず掛川市を知ってもらうよう掛川音頭を踊り、その後、久寿玉作りに入りました。

最初は私達も緊張しましたが、それ以上に子ども達の緊張感が伝わってきました。1時間以内に完成までこぎつけたい一心で、細かい所では手を触れながら教えました。もう家の孫といっしょです。何回も折り返ししながら折り進んでいくうちに「これでいいですか？」「ここはどうですか？」など言葉をかけてくる子もおり、顔を見るとやさしい表情でゆったり感じました。

「いいよ、上手にできたね!」、自然に会話をしている自分に気付きました。子ども達と会員の共同作業で折った36個のパーツを集めた久寿玉は、立派に出来ました。完成品を前に達成感からか、子ども達の表情にも随分と変化が見られ、たかが折り紙ですが、ふれあいの大切さを強く感じました。

学園の子ども達全員が社会に出た時、普通に生活ができることを願いつつ帰路につきました。



10/27 静岡刑務所 矯正展

目次

- p1 駿府学園誕生会に参加
- p2 初任者研修に参加して
少年の家夕食づくりに参加して
- p3 第9回ふれあい広場
掛川地区更生保護大会
- P4 「人権教育・命が大事、家庭が大事」冠講座
編集後記

第86号 更女だより
掛川支部担当

掛川市福祉課
掛川市長谷 1-1-1
TEL:21-1140 FAX:21-1163

掛川地区更生保護女性会
会長 戸塚久美子
TEL:090-5636-8333

初任者研修に参加して

文責 掛川支部 横山明代

7月30日菊川市の総合保健福祉センター「けやき」にて25年度の新会員研修会がおこなわれました。

西部地区105名の方が10時半より4時迄更女の活動についての理解と実践活動の研修会です。最初は静岡県更女連盟の堀靖代会長の「更生保護女性会とは」の講話でした。その中では矯正施設、更生施設のとりのくみや、活動例として、花壇作り、意見発表会、運動会の手伝い、食事作り、子育て支援、ミニ集会、青少年非行防止、処遇協力、社会貢献、社会を明るくする運動活動などお話しになりました。こんなに多くの活動にとり組んでいる更女の人達の話聞き自分は何か出来るのかと不安と心配になりました。

次に静岡保護観察所の塚田三貴雄課長の「更生保護制度について」の講話がありました。保護観察における法律に関係したお話が主でした。すこし私には難しかったです。

昼食をはさみ各地区の支援活動ビデオの（ひろげるⅡ）を鑑賞しました。子育て、食事作り、あいさつ運動、清掃、バザー、地域育、花壇作り、道路標識の清掃等。各地区ともそれぞれの地域の様子を見ることが出来ました。

最後にグループ討議に移り、これからの新会員としての活動や、ビデオの感想等の話し合いがもたれました。「薦められる迄この会を知らなかった」「活動の様子を見てこわくなった」「更女の会の活動の様子を新聞にのせてもらったらどうか」「更女の会は堅い会だという事にこだわっていた」「ビデオを見て自分出来るかと少し心配になった」「高齢者の方は子どもを育てた経験を活かして頑張りたい」等々いろいろな意見発表がありました。全般には入会する迄は更女の会というものを知らなかった人が多く見られました（私もその1人です）。多くの人に知ってもらって活動に加わってもらうにはどうすればよいか、今後の課題として浮き彫りになりました。

皆さんとても熱心でよい意見をきくことが出来ました。といっても私は後期高齢者ですのでお役にはたちませんが、できるかぎり参加させて頂きたいと思いますのでよろしくお願い致します。

少年の家夕食づくりに参加して（8月8日）

文責 掛川支部 大谷よし

今回は戸塚会長さんと共に4人で参加しました。献立は若者の好きなキムチスープと野菜サラダに決まり、デザートはバナナにしました。材料は前日に掛川で買い、バナナは会長がシズテツストアに当日買いに行きその間に3人で下拵えを始めました。店より帰った会長の話では、レジの人が少年の家の夕食づくりの人と分かるかと急に丁寧な態度になったと驚いて話されました。

調理に入る前に事務所の湯本先生が2階の部屋と屋上を案内して下さり新築予定地をも拝見し地域の人達の集会所も造ることが決定していると伺いました。又ご近所の人達も更女の会員が夕食づくりをしたりシズテツストアに買物に行く姿を見るにつけ、少年の家への理解も深まり他県に比べて偏見も少ないので有難いとお言葉でした。私には地域との関わりを大切にしておられる様に見えました。

料理もでき上がり、賄さんも来たので青年3人に挨拶して帰路につきました。協力して奉仕させていただき心も軽く楽しい1日になりました。



第9回掛川市ふれあい広場への参加（10月20日 掛川市生涯学習センター）

文責 掛川支部 佐藤晴美

ふれあい広場は、「赤い羽根共同募金」の助成金によって開催されている福祉のお祭りです。ボランティア団体、福祉施設などがいろいろなコーナーをもち運営しているものです。今年は、遊びの広場・ハンドベルの演奏・よさこい踊り・笑いヨガなど盛り沢山の楽しいイベントで誰でも気軽に参加できるものでした。そんな中で更生保護女性会は、富田前会長さんがご用意してくださった模造紙に書いた24年度の活動報告をボードに展示、大谷理事や永田副会長が中心となって作成した富士山形のアクリルたわしやタオルドレスの販売と折り紙で作ったコマまわしの体験、お茶の先生の鈴木敏子会員の“お・も・て・な・し・茶”（地域のお茶と更女のお茶）は、スタンプラリーでお見えくださった皆様に呈茶いたしました。スタンプラリーの合言葉は「更女のお茶」です。とても香り高く味わい深いお茶は、更生保護女性会が販売に協力している「更女のお茶」で、少年の家の建設資金としていたものでした。またこの時法務省保護局から出ている「立ち直りを支える地域のチカラ 社会貢献活動」のチラシと掛川市広報9月号に掲載された更生保護女性会を紹介したコピーを配布し、皆様にご覧いただきました。



ふれあい広場

タオルドレス・アクリルたわし売上…	16,850 円
1円募金	… 1,365 円
ご協力有り難うございました。	

トピックス

初めての掛川市地区更生保護大会（平成26年1月25日）

この度、保護司会と更生保護女性会は、共催で「掛川市地区更生保護大会」を開催します。毎年夏休みに“社会を明るくする運動”の一環として作文を市内の小中学生から応募していただいています。毎年優秀な作品が多いことから、更生保護大会を開き、その中で作文の表彰と発表をすることになりました。地域社会へ更生保護を啓発することを目的に毎年開催していく予定です。

「人権教育・命が大事、家庭が大事」冠講座 掛川東高校への人権教育冠講座 開催

文責 会長 戸塚久美子

12月13日午後1時20分から県立掛川東高校で「人権教育 産んでくれてありがとう」という演題で人権講演会が開催されました。講師はNPOエキゾチック倶楽部 副理事長 長田治義様。

昨年度から児童養護について学習している本会の『人権・命が大事、家庭が大事プロジェクト』の一環で7月の視察研修に続き第2部という位置づけで、高校が受け入れてくれたものです。冠講座は寄付講座であり、更生保護女性会が講師を派遣し、その代わりに私たちも同じ時間に同じ場所で学習をさせて頂いたものです。



講師からは、「生まれるという奇跡・480億分の1の確率であなたが生まれたことは奇跡的です。奇跡的に生まれた命を大切に考えてみよう」という導入からお話は始まりました。ある市では中絶で毎年1500人もの命が奪われていること、中絶先進国日本。さらに性行為から性病やエイズの感染が増加していることにふれられ、偏見や差別が感染増加を招いていると分析されています。

命や体を大事にしない風潮、こういう中からいじめや暴力、レイプ、児童虐待など犯罪に発展していることを示されます。

出産は「頑張って！おめでとう」を言ってもらえる時期に産もうというイメージを持ってほしいし、適正な生きるための知識や情報を得ながら「産んでくれてありがとう」という言葉を両親に言えるあなた方が、次世代を繋いでいってほしいと結ばれました。

恥ずかしくて親が教えない性教育途上国の日本。青少年には適切な情報を伝え、自覚のある生活を作り上げてほしいと思いました。

それにしても東高校の生徒諸君は、身動きせず私語もなく、素晴らしい学習態度で感心致しました。校長先生を始め、先生方各位には心から感謝しています。

編集後記

5月22日の総会以来、会員の皆様には様々な活動にご協力頂きました。ありがとうございました。「命が大事、家庭が大事」プロジェクトも7月の研修会及び12月の高校への人権教育講座も無事に終わることができました。来年も継続的に行ってきたいと思います。



7/17「児童養護・里親制度」を考える



7/17 リーディングカフェ

平成26年度総会は5月14日午前に開催予定です。

平素の活動でご意見がございましたらお寄せください。学んでいきたいことなど何でも結構です。